

2018年佐臨技会報 平成30年12月

発行所：一般社団法人 佐賀県臨床検査技師会
〒849-8501 TEL:070-2392-1447 FAX:0952-34-2028
事務局：佐賀大学医学部附属病院 検査部内

発行人：百田 浩志 編集人：福田 正博
URL : <http://saringi.jp/>
Email : saringi-jimu@saga.email.ne.jp (事務局)

「親睦会」報告

平成30年度親睦会を、武雄市の「県立宇宙科学館」、昼食会を武雄センチュリーホテルにおいて、10月28日(日)に開催し、会員19名・お子様5名の方に参加いただきました。

県立宇宙科学館では、プラネタリウムで自然な星空を体験し、日常を忘れることができた極上の空間でした。紅葉が始まった景色の中、宇宙と自然を満喫することができました。また、昼食会では、お子様の参加もあり佐臨技が一つの家族になった雰囲気の中、美味しい食事をいただきながら親睦を深めました。

参加いただきました方、ありがとうございます。「親睦会」では、研修会とは違った形での意見交換ができ、交流を図ることができました。(内田)

第3回事業推進委員会報告

10月25日(木)佐賀大学医学部附属病院で標記委員会を開催しました。(中島秀樹)

1. 親睦行事について

タイムスケジュール及び参加人数を確認しました。

2. 全国「検査と健康展」について

事前・当日の準備及びスタッフ配置を確認しました。

『九州臨床検査品質保証研修会 in 佐賀』報告

標記研修会を11月10日(土)に佐賀県医療センター好生館にて開催し、参加者は87名と非常に多くの方々の参加がありました。本研修会は、本年12月1日に施行される改正医療法及び改正省令の概略と、この改正に伴い医療機関等で新たに求められることとなった標準作業書や作業日誌、台帳類の作成法などについての周知を目的として企画しました。

初めに、百田会長より医療法等改正の概略について、医療法改正の経緯、目的と整備すべき具体的内容について説明がありました。

その後、好生館の香月万葉技師、新開幸夫技師、NHO佐賀病院の松永秀幸技師より、それぞれの標準作業書と日々の業務で必要となる作業日誌や台帳類などの記録の記載内容やそのポイント、注意事項などについての詳細な説明がありました。

今回の医療法改正により、検査部内だけでなく医療機関としての精度管理責任者の設置や各種書類の整備が求められており、現在その整備にあたって検査部外で実施されている検体検査の対応をどうしていくかなど、様々な課題が浮かび上がってきています。

本研修会では、準備に関する具体的内容や課題についての質疑応答が行われ、非常に有意義な場となりました。会員の皆様には、今回の内容を参考に各施設での対応に取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。(平野)

医師会精度管理調査解析作業部会

11月7日(水)標記会議が佐賀県健康づくり財団にて開催された。今年度の資料配布状況と測定結果回収情報が報告され、測定値が大きく逸脱している施設や、明らかな記載ミスの施設への対応を討議した。また、来年3月16日に開催される同解析報告会の内容や担当を検討した。今年度は中間報告を実施し、解析調査報告書の配布を早めに行うことを確認した。(百田)

第68回日本医学検査学会 一般演題登録のお願い

2019年5月18日、19日に、山口県下関市で標記学会が開催されますが、一般演題募集期間が12月7日(金)までに延長となっています。学会発表は自身のスキルアップを図るためのよい機会です。ぜひ佐賀県から多くの登録をお願いいたします。(平野)

佐賀県合同輸血療法委員会

11月10日(土)佐賀県庁にて標記委員会が開催された。アンケート解析報告の後、施設の状況報告がされた。今年度は唐津赤十字病院から認定看護師と検査技師の計4名による興味ある報告であった。東邦大学の奥田誠検査技師長による安全な輸血に関する講演が行われ、この委員会初の検査技師による講演であった。毎年注釈するが、委員会との名目ではあるが、佐賀県の輸血情報の報告と先進的な事業や学術の講演会である。参加は自由なため、多くの参加を頂きたい。(百田)

佐賀県糖尿病対策推進会議

10月23日(火)標記会議が佐賀県メディカルセンターにて開催された。昨年度の事業報告の後、今年度事業の審議がされた。今年度も各地で糖尿病予防の啓発事業が行われるほか、昇開橋と唐津城でライトアップが行われる。続いて、県医師会や国保団体から新たな試みが紹介された。(百田)

『地域ニューリーダー育成研修会』参加報告

10月12日(金)～14日(日)静岡県の熱海市で開催された、「平成30年度地域ニューリーダー育成研修会」へ参加しました。

研修会では、グループで『10年後日臨技のあるべき姿へ向けてのロードマップ』のテーマに対し、提言書作成を最終目標に、参加者との討議に多くの時間を費やしました。

また、「第4次マスタープラン」の内容や医療情勢など、提言書作成の足掛かりとなるような講義もありました。普段意識していない内容でしたが、私たち臨床検査技師が置かれている現状や目指すべき方向性のヒントを得ることができました。講義や討議した内容をもとに、研修会最終日には、グループごとに提言内容をスライドにまとめて、報告会が行われました。多くのグループから出されたのは、組織力強化の必要性であり、技師会加入推進のためにe-learningを充実させること、学生には無料で門戸を開くなどが挙げられました。また、認知度を上げるためにSNSやメディアなどを活用した情報提供の提案もありました。課題は概ね共通していましたが、アプローチは様々で、大変勉強になりました。

今回の研修会で得られた情報や手法などを活用し、佐賀県の臨床検査技師会の更なる発展に微力ながら貢献できるよう、努めていきたいと思っております。(佐賀大学医学部附属病院 石隈麻邪)

11月三役活動報告

7日(水) 県医師会精度管理調査解析作業部会 (佐賀市)・・・百田
10日(土) 品質保証研修会 (佐賀市)・・・・・・・・全三役
10日(土) 佐賀県合同輸血療法委員会 (佐賀市)・・・・・・・・百田
18日(日) 全国「検査と健康展」(佐賀市)・・・・・・・・全三役
18日(日) 三役会 (佐賀市)・・・・・・・・全三役